

先週の礼拝メッセージ(2024年1月14日)ベン牧師

「主の顕現と私たちの応答」詩篇 19:1-5

「天は神の栄光を語り、大空は御手の業を告げる。」

大空を見上げる時、神様の創造の業の素晴らしさを、私たちクリスチャンは覚えます。神様の創造物である自然界が、その存在を通して創造主の栄光を現しているからです。しかしそれを感じることでできるのは、神様に対する信仰あってこゝであって、信仰を持たない人々は、自然界から神の偉大さを覚えるということはありません。

「昼は昼に言葉を伝え、夜は夜に知識を送る。語ることもなく、言葉もなくその声は聞こえない。」

自然界は伝え、送っているのですが、神様を信じない人々は、その声を聞くことができないのです。しかし、信仰者は自然界を見て神の偉大さを知ることができるのです。

「その声は全地に、その言葉は世界の果てにまで及んだ。そこへ神は太陽のために幕屋を張った。」

残念ながら、自然界は神の偉大さを伝えることはできても、神のみこころを伝えることはできません。

そこで8節からは、神様が私たちに何を計画されているのかを、ダビデは語ります。それは「主の律法」、神の言葉です。

「主の律法は完全で、魂を生き返らせ主の定めはまことで、無知な者を賢くする。」

みことばによって、私たちは神のみこころを知るのです。

「主の諭しはまっすぐで、心を喜ばせ、主の戒めは純粹で、目を光り輝かせる。主への畏れは清く、いつまでも続く。主の裁きは真実で、ことごとく正しい。金よりも、あまたの純金よりも好ましく、蜜よりも、蜂の巣の滴りよりも甘い。」

神の言葉を好ましく甘いとを感じるのも信仰があつてのことです。主の律法とは戒めのことなので、もし信仰を持たない人がその戒めを読むなら、窮屈で人を縛るものとしか思えないでしょう。しかし、救いに預かり神の愛を知るクリスチャンにとっては、私たちが聖く導くためのものであることがわかり、ダビデが表現したように、蜂の巣の滴りよりも甘いものとなるのです。

このように、ダビデは1~7節で自然界に恵みを表してくださる神を讃え、8~11節では、神様は律法(神の言葉)によって、ご自身のみこころを伝えてくださることを語ります。そしてその後、彼の応答が続くのです。

「あなたの僕もこれらによって教えを受けました。これらを守るとき報いは大きい。」

ダビデも普通の人間です。大きな過ちも犯しました。決して聖人君子ではありません。しかし、神様が自分を愛してくださっているという信仰は、決してブレませんでした。

「誰が知らずに犯した過ちに気付くでしょうか。隠れた罪から私を解き放ってください。」

知らずに犯した過ち、隠れた罪とはどういうものでしょう。実は、私たちが気づかずに犯してしまいやすい罪とは、「傲慢」という罪です。

「あなたの僕を傲慢から引き離し、これに支配されないようにしてください。その時、私は全き者となって多くの背きの罪から解き放たれるでしょう。」

ダビデは神様の前に、傲慢から引き離してくださいと、切に祈ります。実際、傲慢になっているとは本人は気づかないことが多いのです。また、傲慢と密接につながっていて、気付きにくいのが不信仰という罪です。知らない間に、自分の力でなんでもやってしまい、神様により頼むことを忘れてしまうということがあります。これが傲慢と不信仰の姿です。それらの罪を気づかせてくださるのが、自然界を通して語られ、みことばから示してくださる神なのです。ダビデは、その人生で傲慢と不信仰の罪を犯した人でした。しかし、その罪を預言者によって暴かれた時、彼は王として預言者を断罪することもできたにもかかわらず、神の前にへりくだって悔い改めたのでした。律法から言うなら、彼の犯した姦淫と殺人の罪は、悔い改めることさえ許されずに死刑になる罪でした。しかし神様は、律法を超えてダビデの罪を赦されたのです。

「私の口が語ることと心の思いとが御前で喜ばれますように。主よ、わが大岩、わが贖い主よ。」

ダビデは、死刑になっても文句の言えない身なのに、神によって贖われた、その喜びと感謝を歌っているのです。彼の罪は時を超えてイエス様の十字架によって赦されたのです。ダビデはその事実はまだ知りませんでした。信仰によって罪の赦しを得たのです。そして、私たちもすでにイエス様の十字架によって罪赦されています。私たちが、十字架の事実を知っているというのは、ダビデ以上の恵みを受けているということなのです。だったら、私たちは、ダビデ以上に声高らかに、わが大岩、わが贖い主よと、歌うことができるのではないのでしょうか。神の与えてくださった大自然、愛ゆえに語ってくださっている神の言葉、それらをイエス様にある信仰の目を持って見る者でありたいと思います。そして私たちは、みことばに信仰の応答をする者でありたいと心から願います。